

日本における成人先天性心疾患患者の通院状況に関する調査 (多施設共同後ろ向き研究)

当院では日本における成人先天性心疾患患者の通院状況に関する調査（多施設共同後ろ向き研究）を主施設として実施しております（審査番号:10680）。

【研究の意義・目的】

医学の進歩に伴い、成人先天性心疾患を持つ患者さんの生存率は目覚ましく改善しています。しかしながら、日本における成人先天性心疾患患者さんの診療体制はまだ確立していません。その原因として、個々の病気が多様であることから、治療方針を決定するための、まとまった患者数の情報を集めにくいという事情が指摘されています。

そこで、2011年より、当院から日本の主要な施設に呼びかけを行い、成人先天性心疾患患者さんの診療を行っている複数の施設からなる成人先天性心疾患対策委員会（循環器内科ネットワーク）を結成しました。ネットワーク施設を中心に現在の成人先天性心疾患患者さんの診療状況を把握し、種々の疾患に対する治療のための多施設共同治験・研究へとつなげていくことを計画しています。JNCVD-ACHD 成人先天性心疾患対策委員会（循環器内科ネットワーク）公式ホームページ <https://www.jncvd-achd.jp/>

この研究は、全国の主要施設でフォローされている先天性心疾患を有する成人患者さんの人数と特徴を把握することを目的としています。

【研究の対象】

2012年から現在までに、当院成人先天性心疾患外来を受診された、15歳以上の先天性心疾患患者さんの診療録を研究の対象とします。

【研究の方法】

診療記録を閲覧しながら、患者さんの個人情報を排除して、別の番号で匿名化し、病歴、治療内容、臨床経過などの医学情報を調査票に記入し、各種の統計解析を行います。研究者は東京大学医学部附属病院内において解析を実施します。

【研究における倫理的配慮について】

本研究は、過去の診療録調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼさず、患者さんから採取した試料を実験的に用いることはありません。氏名・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報が漏れることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせ

ていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。
また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、
研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。
なお、本研究に関して開示すべき利益相反はありません。

2018年4月

【研究参加機関】

北海道大学病院 東北大学病院 東京大学医学部附属病院 東京女子医科大学病院
大阪大学医学部附属病院 岡山大学医学部附属病院 九州大学病院 国立循環器病研究セ
ンター 秋田大学医学部附属病院 岩手医科大学附属病院 富山大学附属病院 自治医科
大学附属病院 千葉県循環器病センター 聖路加国際病院 慶応義塾大学病院 聖隷浜松
病院 名古屋大学医学部附属病院 京都大学医学部附属病院 京都府立医科大学附属病院
愛媛大学医学部附属病院 鹿児島大学病院 榊原記念病院 神戸大学医学部附属病院
信州大学医学部附属病院 久留米大学病院 三重大学病院 筑波大学附属病院 天理よろ
づ相談所病院 和歌山県立医科大学 大阪医科大学 岐阜県総合医療センター 札幌医科
大学 群馬大学医学部附属病院 横浜市立大学附属病院 北里大学病院 新潟大学医歯学
総合病院 群馬県立心臓血管センター 水戸済生会総合病院 横浜労災病院

【研究担当者】

研究責任者

犬塚 亮（東京大学医学部附属病院 小児科 講師）

八尾 厚史（東京大学医学部附属病院 循環器内科 保健・健康推進本部 講師）

研究担当者

相馬桂（東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任臨床医）

稲葉俊郎（東京大学医学部附属病院 循環器内科 助教）

【問い合わせ等 連絡先】

東京大学医学部附属病院循環器内科 特任臨床医 相馬桂

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35591） FAX：03-5800-9780

Eメールでのお問い合わせ：ksouma-tky@umin.ac.jp